

今冬の安定供給に向けた需要・供給面における取組みと節電へのご協力をお願い

2022年11月28日
関西電力株式会社
関西電力送配電株式会社

関西電力株式会社および関西電力送配電株式会社（以下、当社グループ）は、今冬の電力需給の見通しを踏まえ、需給両面で最大限の取組みを行ってまいります。また、お客さまおよび社会の皆さまにおかれましても、2022年12月1日～2023年3月31日まで、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。

今冬の電力需給は、10年に1度の厳しい気象を想定した場合の需要に対し、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しです。しかしながら、想定を超える電力需要の増加や、ウクライナ情勢の影響による燃料調達リスクが継続していることなどを踏まえると、予断を許さない状況です。

このような状況を踏まえ、当社グループとしても、今夏に設置した電力需給対策本部を継続するとともに、主に以下のことに取り組みます。

【需要・供給面における主な取組み】

	取組み	実施主体
供給面	電源募集（kW 公募）、追加的な燃料調達募集（kWh 公募）の実施	関西送配電
	発電所の計画外停止の未然防止および必要な燃料の確保	関西電力
	原子力5基体制の実現	関西電力
需要面	ポイント等による対価支払型デマンドレスポンスサービスの普及拡大（「冬の節電プロジェクト2022」等）	関西電力
	節電・省エネPR （SNSやHPによる情報発信、自治体等と連携したPR等）	関西電力 関西送配電
	事業場における節電措置	関西電力 関西送配電

【電力需給対策本部の概要】

本部長：関西電力 社長
副本部長：関西電力送配電 社長
メンバー：執行役副社長等、社長が指名する者
役割：平時からの需給状況の把握、需要・供給力対策の総合的な方針決定等
設置期間：6月21日から本部長が必要と認める期間

以上

添付資料：需要・供給面における具体的な取組み

需要・供給面における具体的な取組み

	国の総合対策の項目	内容	実施主体
供給面	電源募集（kW公募） 追加的な燃料調達募集(kWh公募)の実施	○kW公募は8社合同で東日本エリアで77.9万kW、西日本エリアで185.6万kW、kWh公募は9社合同で18.6億kWhを落札	関西送配電
	発電所の計画外停止の未然防止等の実施 （燃料確保を含む）	○巡視点検や日常点検等による各発電所の異常および異常兆候の早期把握・対処等 ○燃料ガイドライン（資源エネルギー庁）を踏まえた燃料確保 ○業界を超えた原燃料の融通に向けた関係箇所との連携	関西電力
	非化石電源の最大限の活用	○原子力5基体制の実現 ○自社太陽光について、監視映像および発電データの確認の徹底を通じた発電量の維持	関西電力
需要面	節電・省エネ対策の推進	○SNSやHP等を通じた各種節電・省エネ情報の発信	関西電力 関西送配電
	産業界や自治体と連携した節電対策体制の構築	○自治体等と連携した節電PRチラシの設置等	関西電力 関西送配電
	対価支払型のデマンドレスポンス（DR）の普及拡大	○低圧のお客さまを対象に、指定した時間および月間の節電量に応じて、「はぴeポイント」を進呈するプロジェクトを実施 ○高圧以上のお客さまを対象に、指定した時間および月間の節電量に応じて電気料金を割り引く料金メニュー（特約）を設定	関西電力
	事業場の節電対応	○従業員の安全と健康の確保を前提に、各所の実態も考慮したうえで、空調、照明等の節電措置を実施	関西電力 関西送配電
	節電要請の高度化	○前々日段階の需給ひっ迫準備情報、前日段階の需給ひっ迫警報・注意報により、需給ひっ迫の可能性を早期に発信	関西送配電
	セーフティネットとしての計画停電の準備	○計画停電の枠組みをHPで公開(2018.7～) ○国や広域機関とも連携しながら適切に対応	関西送配電